



豊中市立第五中学校

SCRUM

66期生 第三学年 学年通信 第22号 2019.12.13

～皆で力を合わせて強く前へ前へ～



人権フェスタひまわりがありました！

12月11日（水）に人権フェスタひまわりが開催されました。5中では「夢バトン～はみごのないまち・学校づくり～」を合

にして、それをもとにいろいろな取り組みや行事などを行っています。その中には授業や日々の学校生活も含まれています。人権フェスタひまわりは各学年で取り組んできたことを発表する行事であり、人権について改めて考えたり、地域の方々と関わりなどを大切にしたりする行事です。



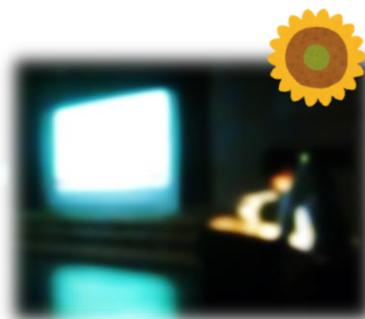
66期生は5中の校章にも描かれている「ひまわり」の花を用いて、「種・茎・花」の段階に分け、自分たちの思いや決意を表現しました。その思いは、自分たちのこれまでの学校生活であったり、卒業に向けてだったり、後輩へ受け継ぐことであったり、様々な思いや決意などです。実行委員の劇で振り返りを行いました。



「種」では1年生から3年生への成長の過程を考えました。その過程で感じたことを漢字で表しました。（下線を引いている部分）

1年生では校外学習で様々な国の文化に好奇心持つことや、協力することを学びました。初めての体育大会ではクラスで団結することや、クラスや学年との絆を初めて感じ、先輩の気合に驚きました。1年生の人権フェスタひまわりで発表したボランティア体験学習では、様々なボランティア体験しながら学び、教えて下さる方や日頃から地域のために行動して下さる方へ感謝の気持ちを感じ、よりクラス・学年での助け合いの必要性を感じました。

2年生では海洋学舎で仲間の存在を改めて感じ、クラス・学年の絆がより強いものになり、友情が深まりました。地域体験学習（職場体験）では働くことの大変さ、礼儀やマナーを学び将来役に立つ、貴重な体験となりました。2回目のありがとうを歌う会では身につけた協調性を発揮し、すばらしいハーモニー（和音）で先輩に感謝の気持ちを伝えました。そして先輩から返ってきた歌に感動しました。



1・2年生の行事を通して、「一人ではやっていけない・・・」「失敗ばかり・・・」ということも「友達と力を合わせて！」「協力すること！」に変わっていききました。そしてそこから達成感や喜びを感じました。

そんな「種」から成長した「茎」は「花」を支える大事な役があります。「花」を66期生のみんなの決意や覚悟に例えるならクラスのみんなの支えが大切になると考え、卒業までのクラス目標を「茎」考えました。最後の最後に立派な「花」を咲かせるためにはクラス一人一人がお互いを大切にするという気持ちが必要になります。今はまだそこまで辿り着けていないような気がします・・・



決意の花

本気になれない
たくさんの人に迷惑をかけていた
自分のことばかり
毎日が楽しいだけでいいのでしょうか？

進路選択

いろいろな思いを持って友達
笑っているあの子も泣きたい日もある
本気で変わる66期生を目指します。
決意の花を咲かせます。

～人権フェスタひまわり第三学年発表の中のスライドより～

実行委員会を立ち上げ、各クラス議員と実行委員2名を募り、放課後残って計画をたて、作業を行いました。学活や総合の時間では各クラスでちぎり絵をチラシを使って作成したり、一人一人が心をこめて折った、折り紙のひまわりに思いを載せました。折り紙をよく見ると決意の言葉が書いてあります。卒業まであと3か月と少し・・・。本気で変わる66期を見せてほしいと思います。みんなで支え合い本気で中学校生活を過ごし立派に一人一人決意の花を咲かせましょう。

百花繚乱・・・

最後まで立派にやり遂げる！！

